

日豪間における液化水素サプライチェーン構築に向けた協業に関する覚書の締結

2025年9月25日
Woodside Energy
日本水素エネルギー株式会社
関西電力株式会社

豪州・エネルギー最大手のWoodside Energy（以下、「Woodside社」）、日本水素エネルギー株式会社（以下、「JSE社」）、関西電力株式会社（以下、「関西電力」）は、日豪間における液化水素サプライチェーン構築に向けた協業に関する覚書（以下、「本覚書」）を締結しました。

本覚書は、日豪関係を背景に、両国間の水素サプライチェーン構築を加速させるものです。3社は今後、本覚書を基に、Woodside社が西オーストラリア州で推進中のH2Perthプロジェクトにて生産された液化水素を、液化水素運搬船を用いて日本の受入基地まで輸送する液化水素サプライチェーンの構築に向けた協議を進める予定です。

H2Perthプロジェクトでは、同州パースにあるロッキングダム工業地帯およびクイナナ工業地帯にて、天然ガス由来の液化水素を製造したうえで、出荷することを計画しています。また、製造過程で発生するCO₂を回収・貯留、および必要に応じてカーボンクレジット^{※1}を使用することで、本プロジェクトにて製造される液化水素は操業開始時からScope 1・2^{※2}ともにネットゼロを達成したクリーン水素として利用可能となることを目指しています。

3社は、本協業を通じて日豪間での液化水素サプライチェーンの構築を目指します。

※1 森林保護や植林、省エネルギー機器導入などを行うことで生まれたCO₂などの温室効果ガスの削減効果（削減量、吸収量）をクレジット（排出権）として発行し、企業間で取引できるようにする仕組み。

※2 事業者によるCO₂排出量の算定・報告対象範囲の区分（Scope 1：自社の事業活動における直接的なCO₂排出、Scope 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用により発生する間接的なCO₂排出、Scope 3：上記以外の事業活動に関わるサプライチェーンのCO₂排出）

以上



大阪での調印式の様子

出席者は左から順に(敬称略)

1. Woodside エグゼクティブ バイス プレジデント ストラテジー アンディ・ドラモンド
2. オーストラリア資源大臣 マデレイン・キング
3. JSE 代表取締役 社長 原田 英一
4. 西オーストラリア州首相 ロジャー・クック
5. 関西電力 執行役常務 栗野 理